

【立川市教育委員会 教育目標】

- 生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立つとするひとづくり
- いつでも、どこでも、だれでも自由に学ぶひとづくり
- いきいき健康、生涯スポーツを目指すひとづくり
- 歴史や伝統文化を継承し発展させるひとづくり
- 国際社会で主体的に貢献し活躍するひとづくり

【学校経営の基本方針】

子どもたち一人一人の多様な可能性を引き出し、最大限に伸ばすことが学校や教師の使命である。高い指導力と優れた職務遂行能力をもった教職員の揃ったレベルの高い学校にし、地域の教育力を生かし、地域とともに子どもたちを育み、保護者地域の期待に応える学校経営を推進する。

【学校教育目標】

- 人権尊重に基づき、これからの社会の変化に主体的に対応し、創造的に生きていくために「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」など生きる力を育むことを目指して
- ◎自ら学びを創る子ども
 - 温かい人間関係を創る子ども
 - たくましい気力・体力をつくる子ども

夢と希望と笑顔あふれる新生小学校

【目指す学校像】

- ・豊かで潤いのある学校
- 人的・物的環境整備がなされ、爽やかな挨拶が飛び交う
- ・自己のよさを発揮できる学校
- 心豊かに、主体的に、そして創造的に生きる
- ・協力し、高め合う学校
- 認め合い、支え合い、協力し合う、高め合う

【目指す児童像】

- 意欲的に学び、よく考え、自信をもって自分なりの考えを表現できる児童
- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、関わり行動できる児童
- 進んで運動に親しみ、健康で、何事にもねばり強く取り組む児童

【目指す教師像】

- ・教師としての使命感、熱意、愛情をもち、社会性に富んだ教師
- ・児童一人一人を大切に、確かな人権感覚を身に付けた教師
- ・保護者や地域の思いや願いを受け止め、学校教育に生かす努力を惜しまない教師

＜中期目標と方策＞

■ 確かな学力の育成

- ・言語活動の充実と思考力・判断力・表現力等の育成（全教科）
- ・アクティブ・ラーニングの視点に立った学習活動において、ICTを効果的に活用した学習を行い、考え、話し合い、学び合う学習の推進を図る。（立川スタンダード20の実践・・・ねらいを明確にした授業）
- ・指導方法や指導体制を工夫しての基礎的・基本的な学力の定着
- ・東京ベーシックドリルを活用した基礎学習（算数）
- ・学力向上のための放課後や夏季休業中の補習の実施
- ・「はい、立つ、です」「せ・め・て」を活用した学習規律の定着
- ・体験学習の推進（地域の学習材の活用、出前授業の実施）

■ 豊かな心の育成

- ・自他の生命を尊重し、優しい心を育む教育の充実
- ・児童の自己肯定感を育む学習指導、生活指導、進路指導の充実
- ・教職員一人一人の人権感覚の向上と人権教育の推進
- ・道徳の授業の工夫・改善による道徳実践力の育成
- ・家庭や地域と連携した人権教育の推進
- ・ボランティア活動（おはようボランティア、ゴミ出しボランティア、クリーンボランティア）等を通しての豊かな心の育成

■ 心身ともに健康な児童の育成

- ・年間3回の体力づくり週間による体力・運動能力の向上
- ・東京都体力テストの実施・検証と授業改善
- ・家庭と連携した生活習慣の見直し「早寝、早起き、朝ご飯」

- ・防災教育による自助力の育成「自らの安全は、自らが守る」
- ・安全点検と安全管理による学校管理下の事故防止

■ 特別支援教育の充実

- ・支援を必要とする児童の実態把握と組織的な支援体制の充実
- ・関係諸機関との連携（教育支援課、通級指導学級、医療機関等）
- ・ユニバーサルデザインの実践

■ 地域との連携と開かれた学校の推進

- ・地域人材の活用による教育力の向上「学習協力者リスト」作成
- ・地域の施設や企業との連携による体験的な学習の充実
- ・地域ボランティア、学生ボランティアの授業支援の活用
- ・保護者評価による保護者のニーズや満足度の把握と活用
- ・学校だより、学校ホームページ、学校情報メールの情報の配信
- ・保育園、幼稚園、中学校との教育連携の充実

■ 教職員の資質能力の向上と組織の活性化

- ・学びの連続性を視点にした小・中連携による学力向上
- ・授業研究を基盤とした授業力の向上と、立川市の研究指定校としての取組
- ・校内OJTの推進と年次研修、基礎学力定着アドバイザーを活用した授業研究を活用した若手教員の授業力向上
- ・服務規律の厳守と教育公務員としての倫理観や人権感覚を高める研修の実施
- ・PDCAサイクルを機能させた組織的な学校運営
- ・危機管理体制の強化「報告・連絡・相談」の履行
- ・経営支援組織を活用した校務改善と副校長補佐機能の強化

＜今年度の重点目標と方策＞

■ 確かな学力の育成

- ・各教科において児童が生き生きと自らの考えを発表し合い、聞き合う学習（毎日設定）ができるようにする
- ・全国学力調査、東京都学力・学習状況調査の市、都の平均を超える
- ・朝の学習タイムを設定し「東京ベーシックドリル」（算数）、補習学習を活用し、全学年市の平均を超える
- ・補習学習（放課後）、サマースクールを合わせて50日以上実施
- ・全ての教科で言語活動の充実を図り85%以上の児童が、根拠を示して自分の考えを書いたり言えたりできるようにする
- ・読書指導の充実を図り1年間に一人平均50冊以上の読書に取り組む
- ・「はい、立つ、です」「せ・め・て」を学年末までに100%の児童に定着する。教室以外の場（全校、学年、クラブ、委員会等）でも。

■ 豊かな心の育成

- ・教育活動を通して一人一人の良さを認め合う場を設定し、児童の自己肯定感を高める。「自分には良いところがあると思う」80%以上
- ・人権教育の充実を図る。（掲示物や作品点検）
- ・1学期中に5年生全員にスクールカウンセラーによる面談を実施。
- ・東京都いじめ防止対策条例を踏まえて策定された「いじめ総合対策」の確実な実施 ・考える道徳、議論する道徳の実施

■ 心身ともに健康な児童の育成

- ・年間2回の体力づくり週間（持久走、縄跳び）を実施し体力と運動能力の向上を図る（トライやるデー、大縄大会）
- ・年間を通し、おはようボランティアと日頃の指導により、自ら進んで挨拶ができる児童が80%以上を目指す
- ・地震・火災等の避難訓練を11回、不審者対応訓練を1回実施する
- ・食物アレルギー対応の保護者面談を4月までに実施し、対応する

■ 特別支援教育の充実

- ・個別支援計画、個別指導計画にもとづいて一人一人のニーズに合った教育の充実を図る（特別支援校内委員会等の組織的な対応）
- ・スクールカウンセラー、学校と家庭の支援員、学校支援員等の活用と「ハートルーム」「新生小キラリ」を活用し、個別指導の充実を図る

■ 地域との連携と開かれた学校の推進

- ・地域・保護者の人材を活用して教育効果の向上を図る
- ・地域の施設、企業と連携して各学年2回以上の授業を実施する
- ・立川八中、新生小と9年間を見通した学びの連続性を視点に連携教育活動を展開する（算数・理科・外国語活動・キャリア教育を中心に取り組む）
- ・地域貢献活動に取り組む（ゴミ出しボランティア、小中連携地域清掃）

■ 教職員の資質能力の向上と組織の活性化

- ・授業力向上のため研修会と数回の研究授業を実施する
- ・給食費、教材費の滞納ゼロに取り組む
- ・服務事故ゼロに向けて、教職員の教育公務員としての意識を高める

「子どものための学校」を目指す使命感をもった教職員

- 豊かな人間性を持ち、子どもの良さを見付け伸ばせる教師
- 授業研究を通して学び合い「授業で勝負できる」教師
- 教育公務員としての使命を果たし保護者や地域から信頼される教師
- 保護者や地域、市民等と連携・協力できる教師
- 若手教員の組織的なOJTによる人材育成ができる教師
- 職層を活かし、組織マネジメントを機能させ組織として機能する学校（進行管理・報告・連絡・相談）組織的問題解決力の向上

◆◆研究・研修◆◆

- ◎平成29・30年度
立川市教育委員会 研究指定校
テーマ「自ら学びを創る子どもの育成」
～ 資質・能力を高めるための授業開発 ～
- 小中連携教育活動
立川市民科・外国語活動・キャリア教育等の連携、児童・生徒の主体的な学びと自立を促す一貫した教育内容の推進